

韓国の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザが発生！

11月19日、韓国の肉用あひる農場において、高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)の発生が確認されました。

本件は、韓国における今シーズン初めての家きんでの発生となります。

また、国内では島根県の死亡野鳥で同じH5N6亜型のウイルスが確認されています。

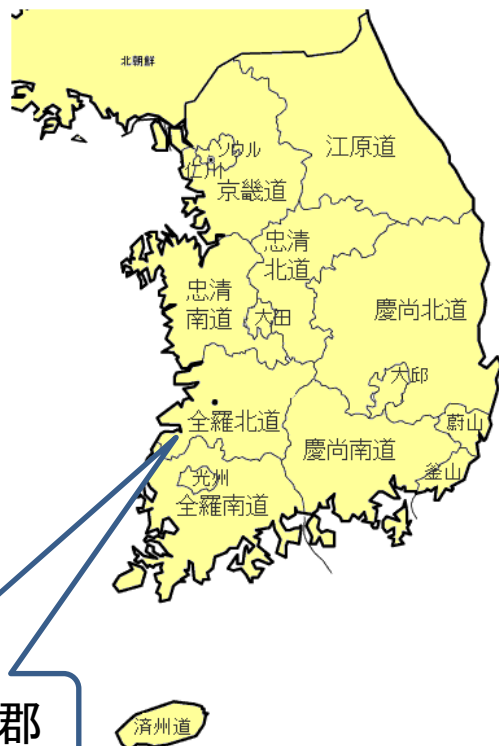
【発生の概要】

◆発生農場

韓国全羅北道高敞（コチャン）郡の肉用あひる農場（飼養規模12,300羽）

◆経緯

- ・11月18日、出荷前検査の遺伝子検査により、H5亜型の鳥インフルエンザウイルスを検出。殺処分を開始するとともに、移動制限を設定。
- ・11月19日、H5N6亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスであることを確認。



全羅北道高敞郡

濟州道

鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様におかれましては、正確な情報の把握と本病の予防対策並びに早期発見・早期通報をよろしくお願ひします。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(休日・夜間転送)

FAX :0774-52-2030